※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０１

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新家庭基礎　気づく力　築く未来（実教出版）						
副教材等	2026　生活学 Navi（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

よりよい暮らしとはどのようなことなのか考え、生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう

・生活における様々な現象や課題を演習や実習等を通して考え、理解を深め、知識を身に付けます。周囲の人々の考えを知って多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けましょう。

・学んだことを自身の生活課題、社会の課題として捉え、充実した生き方をめざしましょう。

・原則として予習は必要ありませんが、実習、実験時には十分な予習を求めます。また、自分の意見を柔軟かつ論理的に述べられることを求めます。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識、および基礎的・基本的な技術を身に付けている。広い視野でよりよい生活を送ることを目指し、社会の構成員として生活を通してよりよい社会の構築に果たすべき役割を考えるための必要な知識や技術を身につける。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付ける。現代社会の状況をふまえた現代生活の課題に対する方策を考え、発表する。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付ける。生活に関わる諸問題について、資料を集め、調べ、内容をグループで話し合い、考え方をまとめる。生活を通して社会、世界へ広い視野で自分自身はどのように関わっていくかを考え、可能な範囲で実行に移す。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分らしい人生をつくる	○家庭科の学び方 ＊自己紹介とペアワーク ○生涯発達の視点 ○青年期の課題 ＊自己を知る ＊自立を考える ○目標をもって生きる	a：青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 b：青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして具体的に考え、表現している。 c：青年期の生き方について関心を持ち、事例研究などを通して、青年期の生き方について検討し、グループでの話し合い、発表ができている。	定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート グループ・個人の発表
	自分らしい人生をつくる	○家族・家庭を見つめる ＊家族法クイズ ＊文化からみる今日までの家族観の変遷 ＊デートDVワークショップ ○これからの家庭生活と社会	a:家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身につけている。 b:家族・家庭と社会との関わりと現代社会における在り方について課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、資料を集め、分析し、グループでの話し合い、発表ができている。	定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート グループ・個人の発表

※令和４年度以降入学生用

	食生活をつくる	○調理の基礎 ＊調理実習（5～6月） ○食生活の課題について考える ○食事と栄養・食品 ＊献立作成 ○食生活の安全と衛生 ＊DVD 視聴「きょうから実践！食中毒予防」 ＊SDGsと食生活	a：栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて科学的に理解し、健康で安全かつ環境に配慮した食生活を主体的に営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の知識と、日常食の調理実習を通して技術を身に付けている。 b：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして方策を考え、判断し表現している。 c：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、資料を用いてグループでの話し合い、発表ができている。	定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート グループ・個人の発表
2学期		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊自由テーマで調査研究、個人発表	a：ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付け、計画に沿って実践することができる。 b：生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c：ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、情報を集め、調べ、グループで話し合い、発表ができている。	ワークシート	ワークシート	振り返りシート グループ・個人の発表
	衣生活をつくる	○被服の役割を考える ＊自分に似合うデザインとTPO を考える ○被服を入手する ○被服を管理する ＊界面活性剤の働き ＊洗濯と環境 ○これからの衣生活 ＊調理実習（9～11月）	a：被服の機能と着装、材料、構成、管理について科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識と被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活と現代社会にある問題について、その解決をめざして方策を考え、適切に判断し表現している。 c：被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、調べ、話し合い、意見交換を行って発表することができる。	定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート グループ・個人の発表

※令和４年度以降入学生用

	子どもと共に育つ	○子どもの育つ力を知る ＊新生児人形を抱く ○親として共に育つ ＊潜在危険(住居・被服) ○これからの保育環境 ＊虐待としつけを考える ○子どもと触れ合う ＊保育製作実習	a: 子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識、および子どもとの適切な関わりと発達を支える技術を身に付けている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活と現代社会の状況から課題を見いだし、その解決をめざして方策を考え、表現している。 c: 子どもの発達と保育について関心を持ち、情報を集め、調べ、グループで話し合い、発表することができている。	定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート グループ・個人の発表
	高齢社会を生きる	○高齢期を理解する ○高齢者の心身の特徴 ＊高齢者体験 ○これからの高齢社会	a: 高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識と、高齢者と適切に関わり、自立生活を支える技術を身に付けている。 b: 高齢者の生活について、家族や地域の生活と現代社会の状況から課題を見いだし、その解決をめざして方策を考え、表現している。 c: 高齢者の生活について関心を持ち、資料や情報を集め、調べ、グループで話し合って意見をまとめることができている。	定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート グループ・個人の発表

※令和４年度以降入学生用

３学期	住生活をつくる	○住生活について考える ＊平面図の読み取り方 ○住生活の計画と選択 ＊耐震構造実験 ＊住宅広告を読み取る ＊住居プレゼンテーション	a: 住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識、および住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 b: 住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして方策を考え、判断し表現している。 c: :住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、情報を集め、調べ、グループで話し合い、発表ができている。	定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート グループ・個人の発表
	経済生活を営む・生活を設計する	○家計を管理する ○現代の消費社会 ＊契約と悪質商法 ○消費者の権利と責任 ＊消費行動から考える ○これからの消費生活と環境 ＊環境マーククイズ ＊持続可能な消費生活と環境についてレポート ○生涯を見通す ＊生活設計のシミュレーション	a: 現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理に必要な知識および生活設計を立案するための技術を身に付けている。 b: 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、課題を見出し、その解決のための方策を考え、表現している。 c: 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、資料を集め、調べ、話し合い、発表ができている。	定期考査	ワークシート レポート 定期考査	振り返りシート グループ・個人の発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度